

はじめに 計画策定の意義

計画の意義、計画の構成及び性格、計画の対象区域、計画の期間

第 I 部 首都圏広域地方計画の基本的な考え方

第 1 章 首都圏を取り巻く諸状況と地域特性

取り巻く諸状況と地域特性を踏まえ、人口・産業・暮らし・環境等の『特性(強み)・課題(弱み)』を整理

第 2 章 首都圏の果たすべき役割と目指すべき方向

第 1 節 首都圏の果たすべき役割

○急速に進む少子化、超高齢化、グローバル化の中で、「経済的成長」、「安心・安全で、豊かな暮らし」、「良好な環境の保全、創出」を共に実現し、首都圏の役割を継続して果たすことのできる持続可能な地域社会を形成する。

①世界・東アジアのリーディング圏域としての役割

- ・世界・東アジアの拠点としての首都圏であり、日本全体を牽引する成長エンジン
- ・地球環境問題等に対して主導的に取組むなど、発展と環境とを両立させるモデル圏域

②日本の首都機能を有する圏域としての役割

- ・世界に対する日本の顔  
(文化・歴史や政治・経済・環境等、様々な分野での情報発信・交流・貢献の場)

③首都圏域の人々が暮らし、働く場としての役割

- ・豊かで多様なライフスタイル(豊かな自然環境、文化・歴史資源等に囲まれた暮らし、ダイナミックな経済活動が営まれる都市的暮らし、ICTを最大限活用した暮らしなど)が実現できる先進モデル圏域
- ・自然災害等に強い国土管理及び危機管理体制の先導的な役割を果たす圏域
- ・良好な環境と共生できる圏域

第 2 節 新たな首都圏の目指すべき方向

○果たすべき役割を実現するために首都圏の目指すべき方向を定める。

- 1 日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化
- 2 人口4千万人が暮らしやすく、美しい地域の実現 ー地域の良さ・魅力の極大化ー
- 3 安全で安心な生活が保障される災害等に強い国土管理・危機管理体制の確立
- 4 良好な環境の保全、創出
- 5 多様な主体の交流・連携がより活発な圏域の実現

※ 圏域内及び他圏域との依存、互恵関係で成り立っていることに留意

第 3 章 新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略

～広域性あるいは共通性のある連携プロジェクト～

第 1 節  
日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化

- ・産業・業務の集積とイノベーション創出
- ・国際ゲートウェイの強化
- ・円滑な物流・人流に資する交通ネットワーク体系の構築

第 2 節  
人口4千万人が暮らしやすく、美しい地域づくり

- ・暮らしやすく美しい地域の形成
- ・大都市特有の課題への対応
- ・地方都市、首都圏中山間部・島しょ部地域特有の課題への対応

第 3 節  
安全で安心な生活が保障される災害等に強い国土管理・危機管理

- ・災害に対する脆弱性への対応
- ・危機管理に対する脆弱性への対応

第 4 節  
良好な環境の保全、創出

- ・地球温暖化対策推進
- ・循環型社会の構築
- ・大気汚染対策等推進
- ・海岸域管理(東京湾等)の充実
- ・自然環境の保全再生

第 5 節  
交流・連携・互恵

- ・観光交流の促進
- ・地域間交流・連携の推進
- ・多文化共生社会の実現
- ・「新たな公」への取組み

プロジェクト

第 4 章 計画の効果的推進

- ①基本計画との整合、周辺領域・分野との整合
- ②計画・プロジェクトのPDCAサイクルによるフォローアップ
- ③財政制約下における「選択と集中」に基づく効果的な事業化等
- ④残された課題

第 II 部 分野別施策と主な関連施策